

仙台市行財政改革推進プラン 2016

平成28年3月、「仙台市行財政改革推進プラン2016」を策定しました。この計画について、行財政改革課の職員に聞きました。

Q なぜ策定したの？

市ではこれまで、効率的で効果的な行政運営に向けた取り組みや市民協働の推進、職員の意識改革、組織風土の改革など、さまざまな行財政改革に取り組んできました。



本格的な人口減少・少子高齢社会の到来が間近に迫っていることから、今まで以上にこれらの取り組みを進めていく必要があるため、「仙台市行財政改革推進プラン2016」を策定しました。

Q どんな計画なの？

震災からの復興や人口減少・少子高齢社会に向けた対策、魅力と活力のあるまちづくりなど、本市の課題は多岐にわたっています。この計画では、こうしたさまざまな課題を解決するために欠かせ



Q 今後どのような取り組みを進めていくの？

新しいきっかけとした行財政運営の基礎を作るために、平成28年度から33年度当初までの間に実施する主な取り組みをまとめました。

新たなプランでは、「将来を見据えた攻めの行財政運営」「市民とともに行うまちづくり」「職員力を最大限生かした市政運営」という三つの実施方針を定めています。今後はこの方針のもと、公共施設の長寿命化や、町内会・NPOなど多様な主体の知恵を生かす環境づくり、市民の皆さんの信頼を得られるような職員の人材育成などに取り組んでいきます。



「仙台市行財政改革推進プラン2016」は、市役所本庁舎1階市政情報センター、区役所総合案内総合支所などのほか、市ホームページでもご覧いただけます
問 行財政改革課 ☎214・1207、
FAX 224・4404



ワケアップ! 仙台

めざめよ! ごみ分別都市。 楽天イーグルスも エコ活動を推進!



森選手 (左) と今野選手

今季も春から観客を熱狂させている地元仙台のプロ野球チーム「東北楽天ゴールデンイーグルス」。本拠地の楽天Koboスタジアム宮城では、2005年のプロ野球への新規参入以来、ごみの分別回収に積極的に取り組んでいます。球場内に7カ所設置されている「エコステーション」では、ボランティアが主体となつてごみを分別回収。これは、全国の球団の中でも初めての取り組みだそうです。

勝利を目指し、日々練習を重ねている若手選手が暮らす「大鷲寮」にお邪魔して、福岡県出身の森雄大選手と地元宮城県出身の今野龍太選手にお話を伺いました。
「エコステーションのボランティアの皆さんは、社会貢献しながら楽

天イーグルスの活動を支えてくれています。とてもありがたいですね」と森選手。最近では、他の球団にもこの活動が広がっているそうです。



試合開催日に球場内に設置しているエコステーション

日頃のごみ分別について尋ねると「寮では廊下にある共用のごみ箱に分別して捨てています。また、普段の練習では、洗って使える容器にスポーツドリンクを入れていきます」と今野選手は教えてくれました。ごみを減らすためには分別も大切ですが、そもそもごみを出さないことも大切。普段の何気ない行動が、自然とエコにつながっていました。「実は、これまでごみ分別についてあまり深く考えたことはなかったのですが、これからは自分たちにできることを頑張ります」とお二人は語ってくれました。



寮内では、共用の分別ボックスを利用しています

ワケアップ! WAKE UP!! とは?

ごみ分別意識を呼び覚ますため、「目覚めよ!」と「分別向上」の二つの意味を込めた造語。「WAKE UP!!ごみdeダイエットチャレンジ」を実施します。詳しくは12ページ参照。